

# 健康ワンポイントアドバイス

## 予防接種について

保健師 小谷千万里

### 「予防接種って何？」

誰もが経験する大変な出来事を「はしかみたいなもの」と表現されることをご存じの方も多いと思います。これは、昔前は「はしか（麻疹）」という高い熱の出る病気に多くの方がかかり、命にかかわることもありながらも、2度目からは大丈夫といった意味で使われていたようです。はしかには、抵抗力（免疫）ができることを経験として知っていたのでしよう。

免疫ができる病気は他にもあり、現代では乳幼児期または健康な時に免疫を作る工夫がされています。「免疫を作る種のようなもの（ワクチン）」を注射したりするのですが、これが予防接種です。

### 「予防接種の種類」

予防接種法や結核予防法で定められた定期接種と、定められていない任意接種があります。

◆定期接種Ⅱポリオ、BCG、三種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風）、はしか、麻疹、日本脳炎、インフルエンザ（65歳以上全員と60歳以上65歳未満で一定の障害のある方）

◆任意接種Ⅱおたふくかぜ、水痘、A型・B型肝炎、インフルエンザ（定期接種対象外の方）

インフルエンザ以外の定期接種には、接種する努力義務があり、任意接種にはそれがありません。

### 「副反応について」

予防接種後に出てくる発熱などが好ましくない反応のこと副反応といえます。現在使用されているワ

クチンは、副反応が起こる頻度の低いものとされていますが、体質や体調によって副反応が出る場合もあり、その程度も様々です。

予防接種は体調の良い時に受けていただくことが原則ですが、かかりつけの医師に、接種が可能であるかを判断していただくことをお勧めします。

現在、インフルエンザ予防接種の時期を迎え、既に受けられたり計画中の方も多いと思います。乳幼児の予防接種も、BCG接種時期、日本脳炎の接種一時差し控え、麻疹風疹ワクチン及び接種時期など、変更事項が多々あります。ご不明な点は、いつでもご相談ください。

予防接種を確実に、より安全に受けるため、予防接種について正しく理解していただき、皆様の健康のためにお役立てください。



シリーズ

## みんなで創る「のびる兵庫国体」

No. 10

### 「おかやま国体が」閉幕

〜舞台は岡山から兵庫へ〜

岡山県で開催された第60回国民体育大会「晴れの国おかやま国体」が10月27日に閉幕し、兵庫県へバトンタッチされました。今後、平成18年9月30日に開幕する「のびる兵庫国体」に向けて、県内各地で準備に一層熱が入っていきます。

競技は、観客の声援に選手がプレーで応え、会場は大変盛り上がり上がっていました。

### 実行委員会が岡山国体を視察

のびる兵庫国体養父市実行委員会は10月23日、養父市での国体競技ハンドボールの大会運営を学ぶため、市職員と市民ボランティアが岡山国体でハンドボール会場となった「津山市」

### 「はばタン消防士」登場

養父市消防本部は、11月9日からの「全国秋の火災予防運動」に合わせ、消防本部と大屋出張所に消防士姿の国体マスコット「はばタン」を設置。通学途中の児童や生徒、行き交う人たちに火災予防を呼びかけています。

### 全競技のリハーサル終わる

10月16日、パラグライダーの第8回兵庫県スカイフェスティバルが八幡高原などで開催されました。これで、市内で行われる競技のリハーサル大会が全て終了しました。

リハーサル大会での課題などを踏まえ、来年の本番に向けた準備を進めていきます。



ハンドボール会場（津山市）